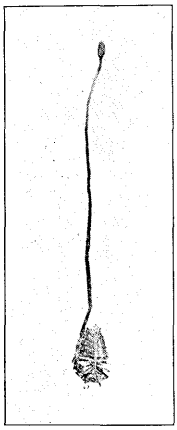
ツテキタノデハナイ、彼ハ相當、彼ノ言フ Allgemeine Dendrologie ニ就テモ考究シタノデアル、Hortus Dendrologicus (1853) ノ著作ノ如キハコノ間ノ消息ヲ語ル更ニ余ガ彼ニ對シテ心ヲ引カルルヲ禁ジ得ナイノハ彼ガ "Die Dendrologie ist keineswegs eine so einseitige und beschränkte Wissenschaft, als manche meinen mögen, sie greift in viele Gebiete des menschlichen Wissens ein" Vorlesunges. Vorredes. IV. (樹木學ハ幾多ノ人人ガ想像スルカモシレヌガ如キ、一面的ナ而モ制限サレタ科學デハ決シテナイ、ソレハ人間智識ノ多クノ範圍ニ關係シテキル　譯文）コトヲ主張シ「樹木學ノ多面性」Die vielseitigkeit der Dendrologie ヲ高調セル點デアル、特ニ Vorlesungen「講義」ノ處々ニ於テ論ジ又彼ノ遺稿タリシ Die Bäume und Sträucher des alten Griechenlands（古希臘ノ樹木）ニ於テ論ジテキルガ如キ F. Unger ノ論文ノ題名ヲ轉用ヲ許サルルナラバ、"Botanische Streifzüge auf dem Gebiete der Culturgeschichte"「文化史ノ領域ニ於ケル植物學的逍遙」ト云ハル可キ方面ハ彼ノ「樹木學ノ多面性」ノ一面ヲ如實ニ示シタモノデアル、コノ方面ハ實ニ余ノ如キ、文化史的見地ヨリスル名稱論的記載的植物分類學的文獻誌ニ基ク樹木學ニ面白味ヲ感ズル者ニトリテハ看過スベカラザル研究ノ好模範トモナラウ尤モ牧野記載的植物分類學ニ於テハ「文化史ノ領域ニ於ケル植物學的逍遙」ハ常ニ考慮サレテ居ルノデアルカラ我々同學派ニ屬スル者ニトリテハ文化現象トシテノ人類ノ樹木學的ノ行動努力ニ對シテ文化史研究ニ寄與スルモノトシテ「文化史ノ領域ニ於ケル樹木學的逍遙」Dendrologische Streifzüge auf dem Gebiete der Kuturgeschichte ヲ云云スルコト亦必ズシモ無意義デハアルマイ

## ○みゝかきたけ小記

東大藥學科教室　藥學博士　落合英二

余ハ藥學科教室デ蕾軒先生ノ珍藏スルみゝかきたけ (Cordyceps nutans Pat.) ノ標本ヲ見タコトガアル其標本

ハ數個箱入リニシテアッテ其何レモガかめむしノ類（のこぎりかめむし、はさみかめむし、はねあかあをかめむし、はらびろかめむし、まへきりかめむし等）カラ發生シ其寄生ノかめむし類ノ名稱ハ故三宅恒方博士ガ自筆デソレヲ書キ入レタモノデアッタ



みゝかきたけ
(Cordyceps nutans PAT.)

コノみゝかきたけト云フ奴原ハかめむしナラドンナ種ニデモ寄生スルト見エ日本菌類目錄ナドヲ見ルト寄主トシテかめむし、いぶきかめむし、はらびろかめむし、くろすぢかめむし等ヲ擧ゲテコノ菌ヲみゝかきたけ、かめむしたけナドト呼デ居ル

本菌ニ就テハ海外ノ書ニモ見エル又東京植物學雜誌第二十八卷三百三十二號ニモソノ記事ガアルカラ素人ガイマ頃蛇足ヲ添ヘル必要ヲ認メナイ

昨年ノ九州旅行中同行ヲ願ッタ前原勘次郎君ガ肥後ノ矢嶽デ見付ケタモノヲ拜領シテ來タカラ之レヲ寫眞ニ撮リ此ニ揭ゲテ關東方面ノ君子ニ御覽ニ入レルコトニシタ

コノ實物ハ丈二寸程デ軸ノ大半ハ黑色ニシテ光澤ヲ有シ頂部ハ朱色デアル寫眞ノ不鮮明ナノハコノ原色ニ基因スルトモ言ヒ得ル

## ○素人ノ立場

久內清孝

人間ト云フ生物ニハ自己以外ノ自然物ニ勝手ニ名ヲツケ又タ他人ノツケタ其名ヲ知ラントスル慾望ノアルコトハ疑フベカラザル事實デアル然シテ文化ノ進ンダ人間ニアリテハコノ慾望ハカナリ强クマタ個人トシテコノ慾望ヲ或程度ニマデ充タシタモノハ教養アル人トシテ自他共ニ許ス樣ニ思ハレル